

# HP ProLiant BL p-Class F-GbE2 インターコネクト キット クイック セットアップ手順



取り付けを開始する前に、  
必ずこのカードをお読みください。

© 2003, 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用する場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

HP ProLiant BL p-Class F-GbE2インターコネクト キット  
クイック セットアップ手順

第2版（2004年7月）  
製品番号338798-192

## 概要

HP ProLiant BL p-Class F-GbE2インターコネクト キットには、2台のProLiant BL p-Class GbE2インターコネクト スイッチと、2個のProLiant BL p-Class QuadSXインターコネクト モジュールが同梱されています。このカードでは、キットに同梱されている品目をセットアップして使用できるようにする方法について説明します。

GbE2インターコネクト スイッチの取り付けおよび設定の詳細については、このキットに同梱のProLiant BL p-Class GbE2 Interconnect Switch Management Utilities and User Documentation CDに収録されている『HP ProLiant BL p-Class GbE2 Interconnect Switch User Guide』を参照してください。

## キットの内容

- ProLiant BL p-Class GbE2インターコネクト スイッチ（2台）
- ProLiant BL p-Class QuadSXインターコネクト モジュール（2個）
- ProLiant BL p-Class GbE2 Interconnect Switch Management Utilities and User Documentation CD
- インストレーション カード（本書）
- 保障規定書

## 規定に関するご注意

この製品は、FCC規定のPart 15に準拠したクラスAのデジタル装置です。規定に関する詳細については、User Documentation CDに収録されている『HP ProLiant BL p-Class GbE2 Interconnect Switch User Guide』を参照してください。

光ファイバ モジュールは、米国政府およびIEC 60825-1で定めるClass1のレーザ装置基準に適合したレーザ装置を搭載しており、通常の使用では人体に有害なレーザ光線を装置外部に放射することはありません。



**警告：**本書またはレーザ製品のインストレーション ガイドに記載された以外の修理、調整等を行うと、危険なレーザ光線をあびる場合があります。レーザ光線の放射によるけがや装置の損傷を防止するために、次の注意事項を守ってください。

- モジュールのカバーを開けないでください。内部にはユーザが修理できる部品はありません。
- 一般のユーザが、レーザ装置に対して本書に記載された以外の修理、調整等は絶対にしないでください。
- 内蔵レーザ装置の保守や修理は、必ず、HPのサービス窓口にご依頼ください。

米国食品医薬局CDRH（Center for Devices and Radiological Health）のレーザ製品に関する規定（1976年8月2日施行）は1976年8月1日以降に製造されたレーザ製品に適用されます。米国内で販売されるすべての製品がこの規定に適合しなければなりません。この装置は、IEC 60825-1で定めるClass1のレーザ装置基準に適合しています。

## 取り付けの準備



### 警告：

- このGbE2インターコネクト スイッチの取り付けは、コンピュータ機器の保守および危険な高電圧製品の取り扱いに関するトレーニングを受け、サービス認定を受けた専門の担当者のみが行ってください。
- 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、システムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

**重要：**既存のProLiant BL p-Class GbE2インターコネクト スイッチの交換またはProLiant BL p-Class GbEインターコネクト スイッチ、ProLiant BL p-Class RJ-45パッチ パネル、あるいはProLiant BL p-Class RJ-45パッチ パネル2からのアップグレードを行う場合は、『HP ProLiant BL p-Class GbE2 Interconnect Switch User Guide』を参照してください。

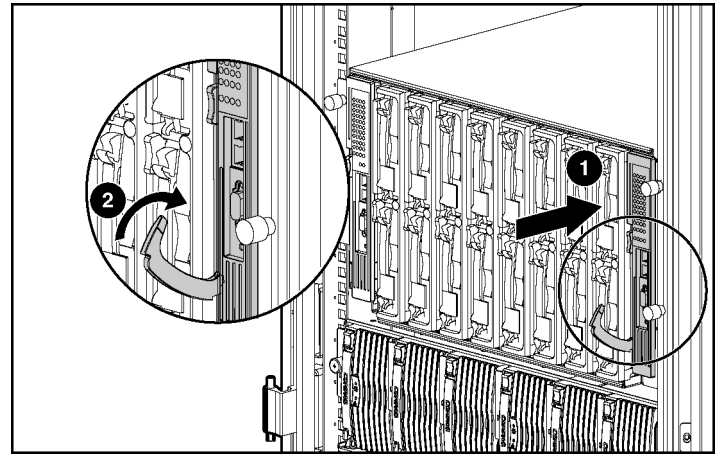
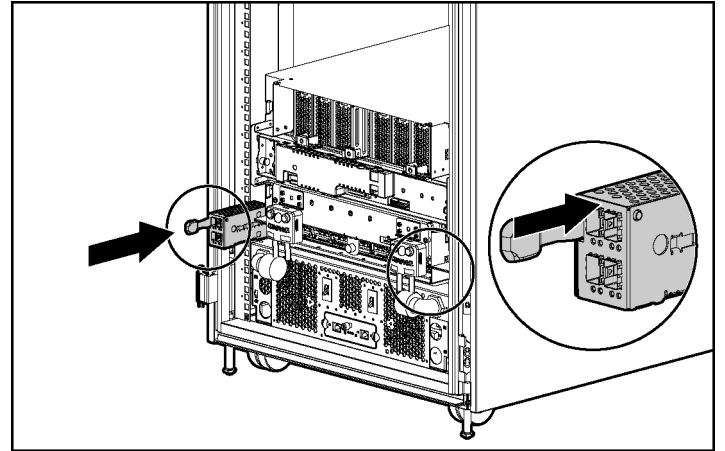
**重要：**GbE2インターコネクト スイッチを取り付ける前に、スイッチのMACアドレス（GbE2インターコネクト スイッチに貼付されたMACアドレス ラベルに印刷）を記録しておいてください。このアドレスは、GbE2インターコネクト スイッチを設定する際に必要になる場合があります。

## 取り付けのガイドライン

取り付け時には、以下のガイドラインに従ってください。

- GbE2インターコネクト スイッチは、必ず、2台1組で取り付けてください。正しく接続するには、各サーバ ブレード エンクロージャ（筐体）に2台のGbE2インターコネクト スイッチが必要になります。
- QuadSXインターコネクト モジュールは、必ず、サーバ ブレード エンクロージャの背面側の最も左下のベイと最も右下のベイに取り付けてください。
- 各QuadSXインターコネクト モジュールが完全に固定されていることを確認してください。モジュールがしっかり固定されていれば、ラッチ/ハンドルが所定の位置に収まります。
- GbE2インターコネクト スイッチは、必ず、サーバ ブレード エンクロージャの正面側で、左端（サイドA）と右端（サイドB）のインターコネクト ベイに取り付けてください。

## GbE2インターコネクト スイッチと QuadSXインターコネクト モジュールの取り付け

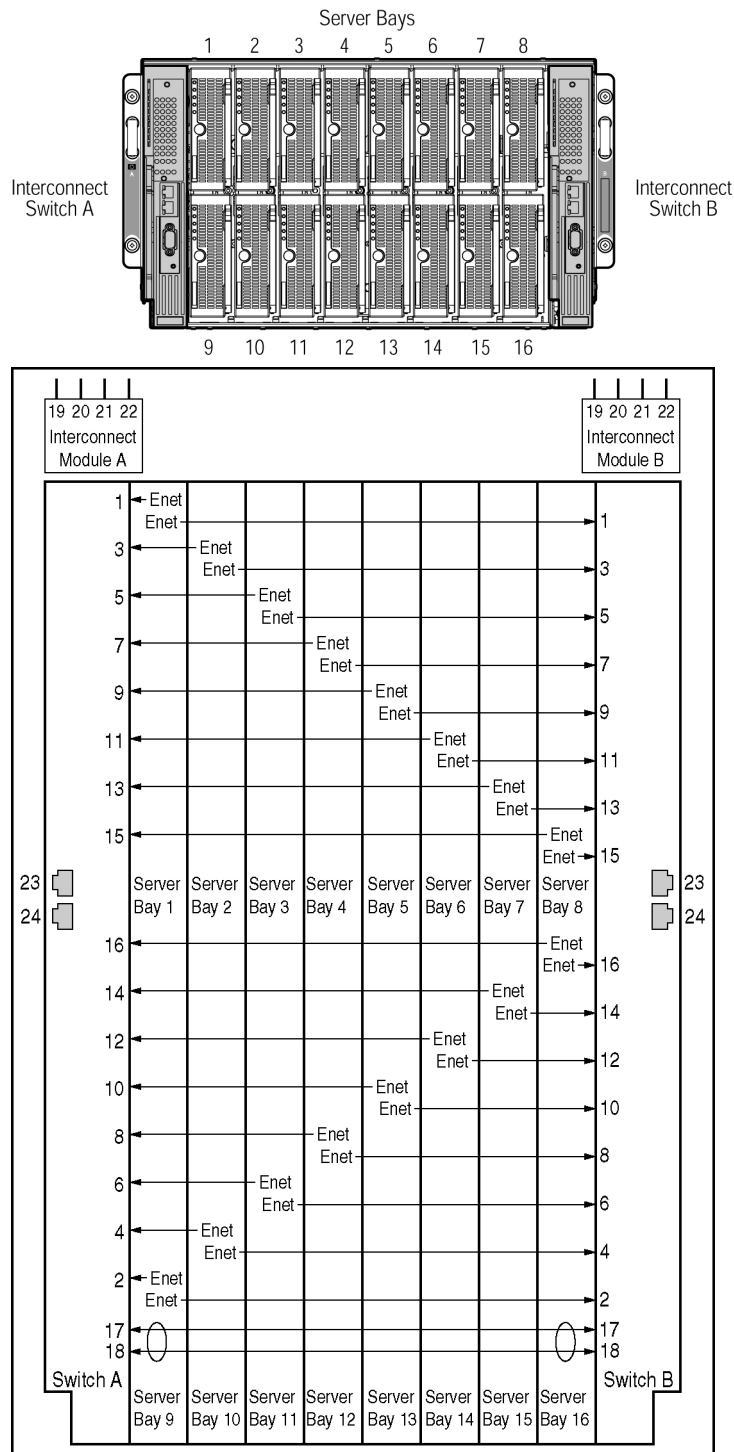
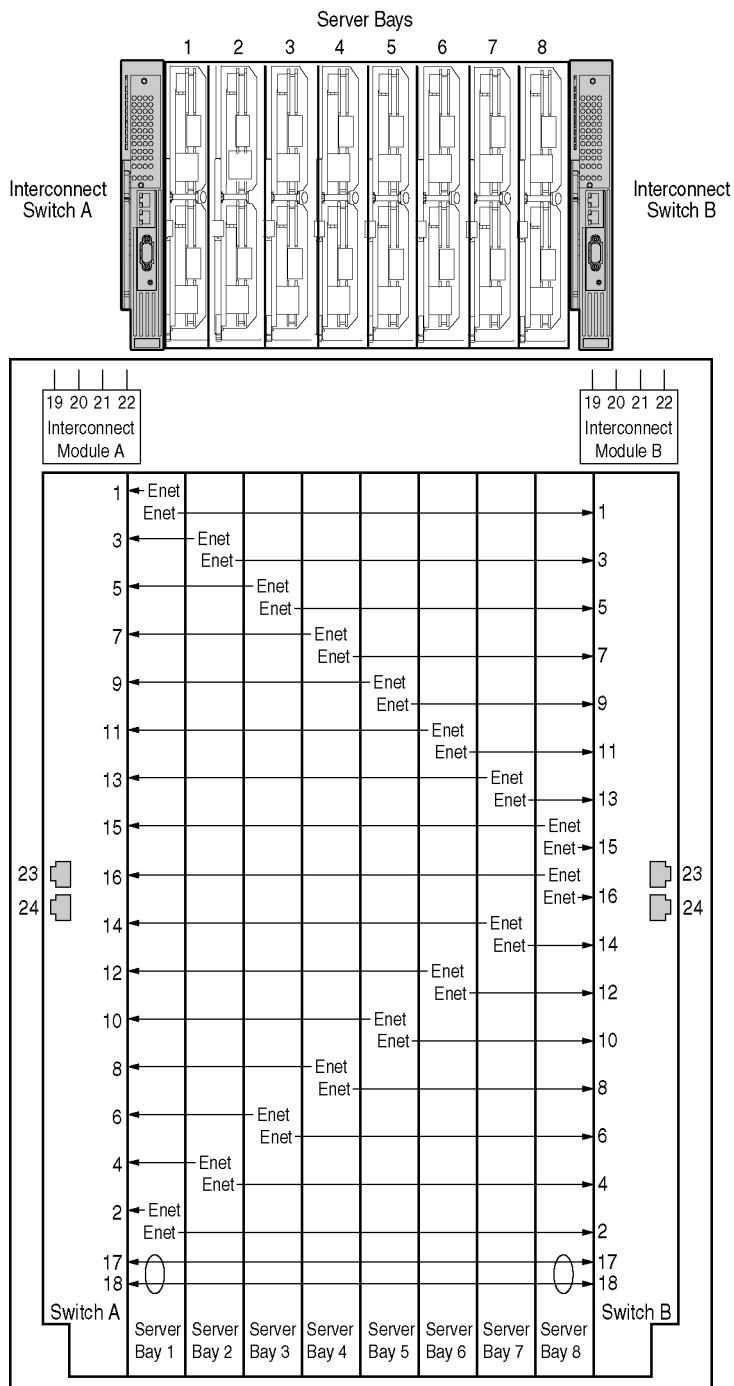


## GbE2インターコネクト スイッチの設定のプランニング

出荷時におけるGbE2インターコネクト スイッチのデフォルト設定では、すべてのポートが有効で、VLAN IDが1に等しいデフォルトの仮想LAN（VLAN）が割り当てられています。このデフォルト設定により、初期セットアップが容易になります。環境によっては他の設定が必要になる場合があります。GbE2インターコネクト スイッチの設定のプランニングについて詳しくは、User Documentation CDに収録されている『HP ProLiant BL p-Class GbE Interconnect Switch User Guide』を参照してください。

インターコネクト スイッチは、NIC番号や関連するNICインタフェースとスイッチ ポートの対応関係に影響したり、それらを決定したりすることはありません。サーバでのNIC番号（NIC 1、NIC 2、NIC 3など）は、サーバのタイプ、サーバのオペレーティング システム、およびサーバで有効になっているNICによって決まります。

次の図は、高密度ブレード サーバをサポートする拡張バックプレーン コンポーネントを装備したp-Classサーバ エンクロージャでの、バックプレーンを介したサーバ ベイとインターコネクト ベイの間のEthernet信号接続を示しています。

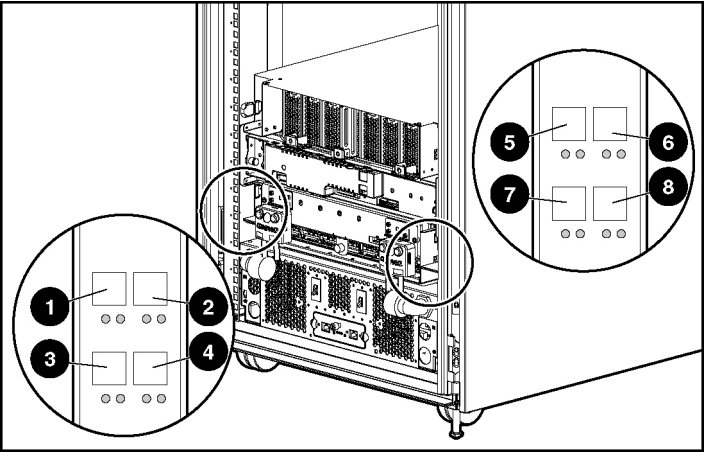


# GbE2インターコネクト スイッチの ケーブル接続

**重要：**既存のProLiant BL p-Class GbE2インターコネクト スイッチを交換したり、ProLiant BL p-Class GbEインターコネクト スイッチ、ProLiant BL p-Class RJ-45パッチ パネル、またはProLiant BL p-Class RJ-45パッチ パネル2からのアップグレードを行う場合で、安全要件が厳しい場合は、以下のいずれかを実行できます。

- 設定が完了するまで、GbE2インターコネクト スイッチのケーブルを接続しないでください。
- GbE2インターコネクト スイッチを診断ステーションに接続してください。診断ステーションを使用すれば、ProLiant BL p-Classサーバ ブレードやGbE2インターコネクト スイッチの電源投入、設定、および診断をラックの外から実行できます。

## ネットワーク ケーブルをQuadSXインターコネクト モジュールに接続する



番号	説明
1	ポート22 1000SXアップリンクLCファイバ コネクタ、スイッチB用
2	ポート21 1000SXアップリンクLCファイバ コネクタ、スイッチB用
3	ポート20 1000SXアップリンクLCファイバ コネクタ、スイッチB用
4	ポート19 1000SXアップリンクLCファイバ コネクタ、スイッチB用
5	ポート22 1000SXアップリンクLCファイバ コネクタ、スイッチA用
6	ポート21 1000SXアップリンクLCファイバ コネクタ、スイッチA用
7	ポート20 1000SXアップリンクLCファイバ コネクタ、スイッチA用
8	ポート19 1000SXアップリンクLCファイバ コネクタ、スイッチA用

# GbE2インターコネクト スイッチの 電源投入

サーバブレード エンクロージャに電源が投入されていれば、GbE2インターコネクト スイッチは、取り付けたときに自動的に電源が入ります。GbE2インターコネクト スイッチの正面側にある電源ステータスLEDが黄色になり、GbE2インターコネクト スイッチに電源が投入されていることを示します。30秒後、電源ステータスLEDは緑色に変わり、GbE2インターコネクト スイッチが起動されたことを示します。内蔵の自己診断テストによってすべてのLEDが点滅した後、アクティブ リンクが点灯し、電源ステータスLEDは緑色で点灯したままになります。

電源ステータスLEDが黄色の間に、GbE2インターコネクト スイッチのフロント パネルのアクセス穴から**Pwr/Rst**ボタンを押すことにより、手動で強制的にGbE2インターコネクト スイッチの電源を投入することができます。これを実行する場合は、小さくて先の丸いものを使用することをおすすめします。

**注意：**電源ステータスLEDが緑色のときに**Pwr/Rst**ボタンを押すと、GbE2インターコネクト スイッチがリセットされます。

**注：**サーバ ブレード エンクロージャに電源が投入されていない場合は、サーバ ブレード エンクロージャのセットアップインストール ガイドを参照してください。

## GbE2インターコネクト スイッチへの アクセス

GbE2インターコネクト スイッチは、フロント パネルのDB-9シリアル管理ポートを使用してローカルでアクセスできます。また、QuadSXインターコネクト モジュールのEthernetの1000SXアップリンク ポートか、GbE2インターコネクト スイッチのフロント パネルにあるEthernetポートのいずれかを使用して、リモートでアクセスすることもできます。

GbE2インターコネクト スイッチにリモートでアクセスするには、このスイッチにIPアドレスを割り当てる必要があります。デフォルトでは、GbE2インターコネクト スイッチは、接続されたネットワークに存在するBOOTPサーバからIPアドレスを取得するように設定されています。

GbE2インターコネクト スイッチにリモートでアクセスするには、以下の手順に従ってください。

1. BOOTPサーバから、GbE2インターコネクト スイッチのMACアドレスを使用してスイッチのIPアドレスを取得します。
2. 同じネットワークに接続されたコンピュータから、WebブラウザまたはTelnetアプリケーションを使用して（IPアドレスを使用）GbE2インターコネクト スイッチにアクセスします。これによって、GbE2インターコネクト スイッチのブラウザ ベースのインタフェース（BBI）またはコマンド ライン インタフェース（CLI）にアクセスできます。GbE2インターコネクト スイッチのログインプロンプトが表示されます。

GbE2インターコネクト スイッチが、BOOTPのサービスを介してIPアドレスを割り当てられていない場合は、GbE2インターコネクト スイッチにローカルでアクセスして、IPアドレスを手動で設定できます。IPアドレスをGbE2インターコネクト スイッチに割り当てると、そのスイッチにリモートでアクセスすることができます。

GbE2インターコネクト スイッチにローカルでアクセスするには、以下の手順に従ってください。

1. ヌルモデム シリアル ケーブル（スケーラブル バスバー、ミニ バスバー、および電源バス ボックスのオプション キットに同梱）を使用して、GbE2インターコネクト スイッチのDB-9シリアル コネクタを、VT100端末エミュレーション ソフトウェア搭載のローカル クライアント デバイス（ラップトップ コンピュータなど）に接続します。
2. VT100端末エミュレーション セッションを、9600ボー レート、8 データ ビット、パリティなし、1ストップ ビット、およびフロー制御なしの設定で開始します。

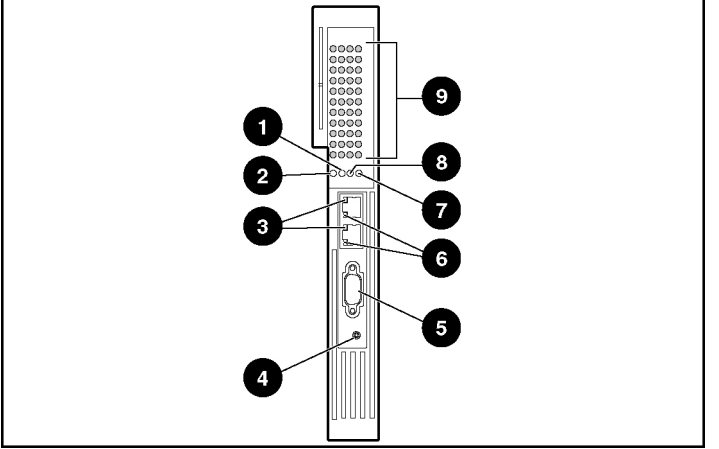
## GbE2インターコネクト スイッチのログオンと設定

GbE2インターコネクト スイッチにログオンするには、デフォルトのユーザ名およびパスワードをadminに設定してください。

**注：** コマンド ライン インタフェースを使用している場合、ENTERキーを押してログイン プロンプトを表示させる必要がある場合があります。

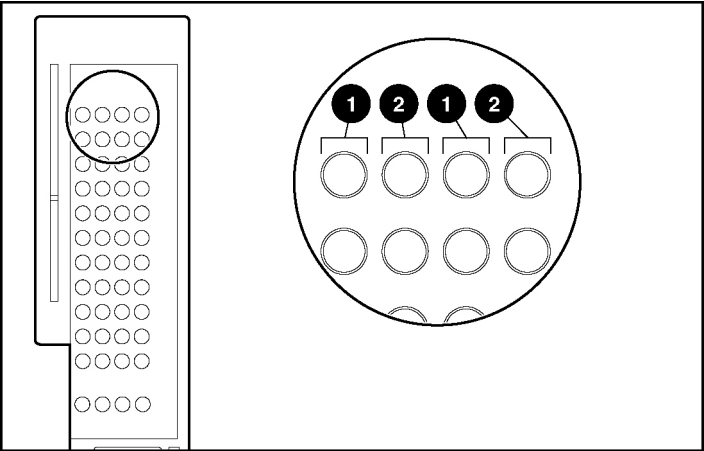
GbE2インターコネクト スイッチは、工場出荷時のデフォルト設定になっています。ネットワーク環境でのGbE2インターコネクト スイッチの設定について詳しくは、User Documentation CDに収録されているユーザ ガイドを参照してください。

## GbE2インターコネクト スイッチのフロント パネル



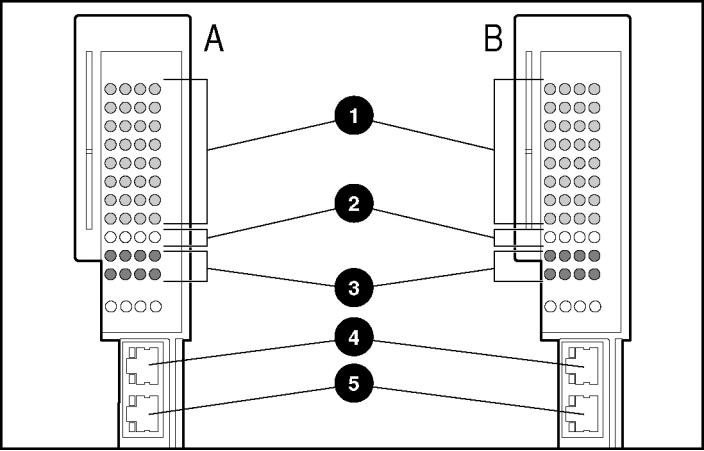
番号	説明	ステータス/機能
1	10G LED	将来使用するための予備
2	SAN LED	消灯 = HP ProLiant BL p-Class GbE2 ストレージ接続キットが取り付けられていない 点灯 = 詳細については、『HP ProLiant BL p-Class GbE2 ストレージ接続キット クイック セットアップ手順』を参照
3	フロント パネルの RJ-45 コネクタの リンク速度 LED	黄色 = 1000Mb/秒 緑色 = 100Mb/秒 消灯 = 10Mb/秒
4	Pwr/Rst ボタン	GbE2インターコネクト スイッチの電源を投入または再起動
5	DB-9 コネクタ	ローカル管理コンソールのアクセスに使用
6	フロント パネルの RJ-45 コネクタの リンク動作 LED	緑色 = リンクおよび非動作 緑色で点滅 = リンクおよび動作中 黄色 = ポート無効 消灯 = リンクなし
7	管理ステータス LED	点滅 = 管理セッションがアクティブ 消灯 = 管理セッションが非アクティブ
8	電源ステータス LED	緑色 = 電源オン 黄色 = スタンバイ モード 消灯 = 電源オフ
9	リンク動作とリンク速度のLED	LEDの割り当ておよび機能については、以下の図と表を参照してください

GbE2インターコネクト スイッチのフロント  
パネルのNIC LEDの機能



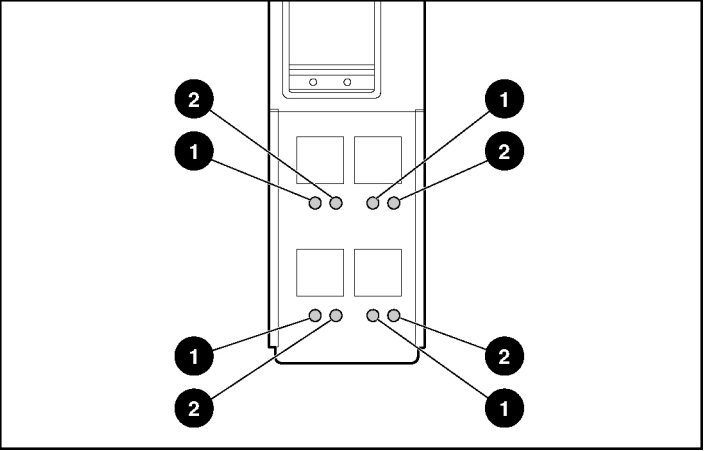
番号	説明	ステータス
1	リンク速度	黄色 = 1000Mb/秒 緑色 = 100Mb/秒 消灯 = 10Mb/秒
2	リンク動作	緑色 = リンクおよび非動作 緑色で点滅 = リンクおよび動作中 黄色 = ポート無効 消灯 = リンクなし

NIC LEDの割り当て



番号	説明
1	ダウンリンク ポート1～16
2	クロスリンク ポート17～18
3	リア パネル アップリンク ポート19～22
4	フロント パネルRJ-45ポート23
5	フロント パネルRJ-45ポート24

QuadSXインターコネクト モジュールのLED



番号	説明	ステータス
1	リンク速度	黄色 = 1000Mb/秒
2	リンク動作	緑色 = リンクおよび非動作 緑色で点滅 = リンクおよび動作中 黄色 = ポート無効 消灯 = リンクなし